



全道優勝大会



速報

大会二日目！準決勝へコマを進めたのは!?

大会二日目、初戦を勝ちあがったチーム同士が白熱した試合を繰り広げた！
明日はいよいよ最終日！ 優勝の栄冠を勝ち取るのはどのチームだ！

グリーンスタジアムメイン

【旭川5 - 4新冠】

新冠は初回、坂井選手がヒットで出塁すると、中尾選手の犠牲フライで先制。

追う旭川は、2回に大高選手のタイムリーで逆転し、その後も追加点を上げ一挙3点を獲得。

その後、新冠も1点差まで追いつけるも、旭川が逃げ切り勝利をおさめた。



【南幌3 - 4白糠】

南幌は初回、紺野選手のヒットを足がかりに、ヒット・犠打でチャンスをつくり、草沢選手のタイムリーで2点を先制。

その後、投手戦となるが、7回に白糠が、田中・太田両選手のタイムリーで同点に。

その後両者譲らず延長戦に突入したが延長11回、白糠が、清野選手のヒットでサヨナラ勝ちを納めた。

【準々決勝 白糠10 - 0旭川】

準決勝進出をかけた試合は、序盤から投手戦となり両チーム無得点が続く。

しかし、4回の白糠、清野選手のホームランで流れは白糠へ。

最後は大量10点を挙げた白糠が、6回コールドで準決勝進出を果した。

グリーンスタジアムサブ

【士別1 - 4北広島】

2回に士別が打者一巡の猛攻で一挙7点を獲得するも、北広島も負けじとその裏に4点を返し乱打戦の様相を呈するも、その後は両チーム投手が抑え、試合は終盤へ。

7回に1点、8回に4点を追加した士別が、準々決勝進出を果たした。

【登別7 - 2音更】

登別が堅い守りで、音更を押さえる一方、コンスタントに得点をあげる登別が8回までに7点を上げ音更を引き離す。

音更も8回に3連打で2点を返すが万事休す。

9回にも1点を加えた登別が勝利を果した。

【準々決勝 登別1 - 2士別】

連戦となった登別が、前試合の勢いに乗り、3回までに5点を奪いリードを広げる。さらに6回に3点を加えて一気に勝負を決めるかと思われたが、意地の4連打で見せたものの、

後は登別が4点を追加し、8回コールドで準決勝進出を決めた。



日本製紙旭川球場

【当別1 - 6苫小牧】

序盤から双方打撃戦で得点につながらなかったが、苫小牧が3回裏に土田選手の右中間2ベースで先制した。

対する当別も荒井選手のヒットで1点を返す。しかし7回裏、苫小牧の松本選手、8回裏

には中村選手がヒットにより2点ずつ追加、当別を引き離し勝利した。



【奥尻0 - 8北見】

4回裏、北見は松下選手の3ベースヒットをきっかけに1点をあげ、さらに走者一掃のランニングホームランなど快進撃が続ぎ一挙6点を得る。5回裏には再び松下選手の2塁打、辻選手のヒットなどで2点を追加し一気に引き離しにかかる。奥尻もヒットなどで満塁のチャンスを作るが生かされず、北見が勝利した。

【準々決勝 北見2 - 5苫小牧】

序盤から打撃、守備ともに拮抗し、得点に結びつかない状況に。しかし4回表、北見がランニングホームランを放ち2点を奪取。対する苫小牧も中村選手、後藤選手、吉田選手のヒットなどで逆転に成功。北見もランナーを進め反撃に出るが一歩及ばず、逆に8回裏に苫小牧の猛打を浴びダメ押しで1点を追加され力尽きた。

鷹栖町民球場

【岩内0 - 0千歳】

千歳市職労は3回裏の榎本選手のエンタイトル2ベースなど、4回までに毎回着実に得点を重ね、0対6とした。また、守備でも小関投手は昨日2ホームランの岩内町職打線をヒット2本に抑え、さらに、6回裏には一挙4点をあげ6回コールドにより試合をものにした。

【鷹栖4 - 2滝川】

鷹栖町職は3回裏、宮崎選手のセンタ前タイムリーで1点を先制。5回表に再度宮崎選手のライト前タイムリーにより2点を追加、さらに8回に4対0とする滝川市職労も4回6回に満塁のチャンスをつくったが得点につながらず、9回裏に猛追し2点を返したが、一歩及ばなかった。



【準々決勝 鷹栖5 - 6千歳】

2回表、千歳市職労は2死満塁から目黒選手の走者一掃スリッパースにより0対4、その後1点を加え0対5とする。一方鷹栖町職も得点し3対5、さらに代打福森選手のエンタイトル2ベースで同点とするも、9回裏、千歳市職労は水谷選手のサヨナラヒットにより勝利した。